



令和3年度 鹿児島県広報コンクール

広報紙部門



- ① 広報きりしま(12月号)
- ② 44,500部・22回
- ③ A4判・32ページ
- ④ 霧島市 秘書広報課

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数
③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課



講評

企画

- ・「まちづくり」という漠然としたテーマが、人それぞれの人生を通して分かりやすく頭に入ってくる。よく考えられた構成だ。十分に紙面を割いて、何を読ませたいかが伝わりやすい。
- ・2ページからの特集は、将来の課題であるまちづくりという難しい問題について、市民の目線や取り組みを通じて分かりやすく解説している。身近に感じてもらうとの意図が明確に伝わり、構成も丁寧で飽きない。18ページからの「人の風景」も、角南さんの人柄やハンドボールへの情熱が感じられ、良い企画だと思う。

文章

- ・読みやすい。
- ・全体的に分かりやすく丁寧な文章。読みやすく、好感が持てる。

デザイン レイアウト

- ・特集はセンターワイドをうまく活用してダイナミック。書体やフォントも統一感があり、細部に気配りしている印象を受けた。読み物のメリハリがあるからこそ、行政情報も引き立つ。
- ・18ページから19ページにかけての「HANDBALL」の黒見出しが見づらく、むしろ不要ではないか。2ページからの特集は写真や地図をバランスよく配置しており、評価できる。





令和3年度 鹿児島県広報コンクール

広報紙部門



- ① 広報きんこう(12月号)
- ② 3,800部・12回
- ③ A4判・20ページ
- ④ 錦江町 政策企画課

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数
③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課



講評

企画

- ・ 地元に残る神舞の歴史と今を掘り下げる好企画。ボリュームもあり、保存したくなるような仕上がり。データ等も交えながら多面的に展開している。
- ・ 池田旗山の神舞特集は、伝統文化継承の取り組みについて、これまでの経緯も含めて多面的に取材、記事化しており、読者の関心を高めようとの意図が伝わる。内容も厚みがあり、好感が持てる。

文章

- ・ 特に気になる点はない。小見出しが文章調なのが惜しい。この手法もあるが特集全体の雰囲気からすると簡潔に言い切ったほうがリズムが出る。
- ・ 文章自体はよく書けており、読みやすい。

デザイン レイアウト

- ・ 全体的にクオリティーが高い。写真の切り抜きや飾りも効果的。黒、赤、白といったカラーの使い方も神舞のテーマに合致している。
- ・ 写真は大小メリハリがあるが、一部に似通った写真が見られる。見出しや写真の配置、文字の大きさなど、全体的には好印象。





令和3年度 鹿児島県広報コンクール

広報紙部門



① 広報AIR Aview(アイラビュー) (8月号)

- ② 29,000部・12回
- ③ A4判 34ページ
- ④ 姶良市 秘書広報課

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数
③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課



講評

企画

- ・ 何となく「ジオパーク」に行ってみたいと思わせるような練られた構成。見出しカットの言葉も力があり、あまり知られていない「ジオ」という言葉を知る助けにもなっている。
- ・ 3ページからの特集は、「桜島・錦江湾ジオパーク」について詳細に解説しており、分かりやすい。ただ、順番としては8～9ページの文章を先に掲載し、ジオパークとは何かを前もって解説した方がよかったのではないかな。

文章

- ・ 長い文章も小見出しをはさみながらテンポよく読ませる。
- ・ 全体としては分かりやすい文章だが、細かい部分で粗が見える。9ページの「大地をいただき」を「大地の恵みをいただき」にするなど、より丁寧さを求めたい。

デザイン レイアウト

- ・ 凝ったレイアウトを嫌味なく見せるのは熟練の技。
- ・ 5ページの大木公彦さんの写真はもう少し大きくてもよかったのでは。15ページの「あいあいボーイズガールズ」の文字ポイントが小さいのも気になる。レイアウト全体としては悪くない。





令和3年度 鹿児島県広報コンクール

広報紙部門



- ① 広報かのや（11月号）
- ② 42,600部・24回
- ③ A4判 28ページ
- ④ 鹿屋市 政策推進課

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数
③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課



講評

企画

- ・ 漁業を多面的に過不足のないテーマと展開でうまくまとめた。
 - ・ 漁業を取り上げた特集は、地域を支えてきた産業にスポットを当てて足元を再確認するという意図が感じられる。漁獲高など、数値化されたデータ紹介があればもっとよかった。
- 「ACP」の企画は、高齢者福祉への関心を高める面で意義があるのではないかな。

文章

- ・ 前文の「皆さん」「漁業関係者」といった文言で読みリズムが止まってしまった。主語なのだろうが、次の段落に続くかきが悪い。前文の言い回しを整理したい。
- ・ 全体的には読みやすいが、「魚食」のコーナーだけ、各段落の最初の1文字が空けられていないことが気になった。

デザイン レイアウト

- ・ レイアウトは整然としており、見開き感もあるが、読み手をひきつけるにはあとひと工夫か。
- ・ ページごとに写真の意の大きさや配置に変化があり、工夫が感じられる。見出しの配置も含め、メリハリがあって評価できる。





令和3年度 鹿児島県広報コンクール

広報紙部門



① 広報たるみず(8月号)

② 7,500部・12回

③ AB判 44ページ

④ 垂水市 企画政策課

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数

③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課



講評

企画

- ・「ジオパーク」を子どもにも分かりやすく伝えたいという意気込みは伝わってくるが、全体的にもう少し構成を練りたかった。「遊び」と「学び」を両立させようとして欲張りすぎたか。むしろ「遊び」に絞ったほうがよかったかもしれない。
- ・特集は、垂水ジオパークの特徴や重要性を多面的に紹介し、身近な地域の魅力を市民にPRしようとの意図が伝わる。学識経験者によるわかりやすい解説も掲載されており、丁寧な構成。歴史文化の紹介コーナーやポストカードの付録設定など、誌面全体の工夫も感じられる。

文章

- ・企画の意図を伝える前文を置きたい。企画の意図が長すぎる。
- ・センテンスの長さなども含め、全体的に平易で読みやすく、好感が持てる。

デザイン レイアウト

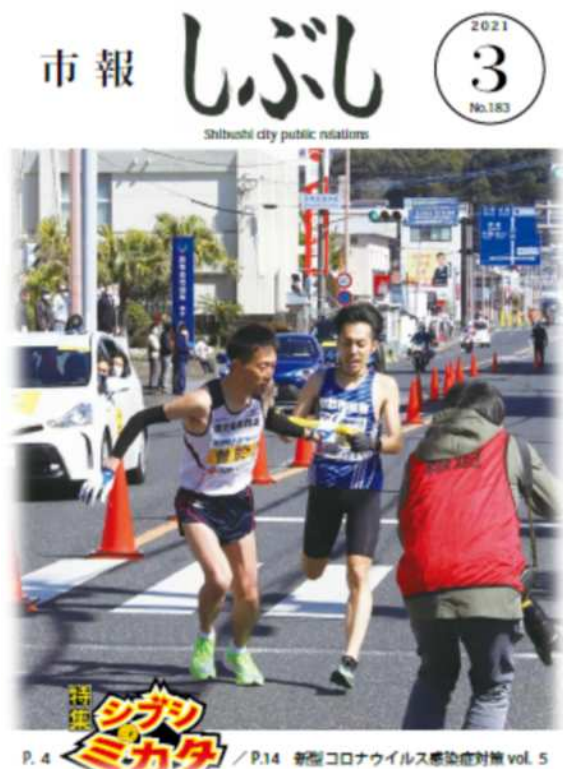
- ・メイン写真の意味が伝わってこなかった。むしろ「キャニオニング」の写真のほうがよかったのでは。キャニオニング体験の写真も市民が読みやすいように配置したい。
- ・写真の大小や配置などバランスの良さを感じる、文章も縦書きと横書きを併用し、レイアウトに変化を持たせており好ましい。





令和3年度 鹿児島県広報コンクール

広報紙部門



① 市報しぶし(3月号)

② 13,300部・12回

③ A4判 32～36ページ

④ 志布志市 企画政策課

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数

③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課



講評

企画

- ・「民間事業者等提案制度」をコミック風に見せようという意欲が伝わってくる。アイデアも面白い。ここまでやるのであれば、表紙から運動させる「冒険」をしてもよかったかも。「私」の個性の反響特集もいい試み。もとになった「私」の個性を再掲したほうが親切だった。
- ・街づくり関連で協定を締結した学校や企業を「地域の味方」と表現し、コミック風にアレンジして読みやすくしようとした試みは斬新で面白い。とっつきやすい誌面づくりへの工夫が感じられる。

文章

- ・ 読みやすい。
- ・ 概ねよく書けている。

デザイン レイアウト

- ・ 各企業がノリノリで参加している写真も楽しい。レイアウトもインパクトあった。
- ・ 表紙は躍動的な写真を大きく使用しており、インパクトを感じるが、誌面全体として写真が小さく、こじんまりとした印象。特に、23ページの写真は小さすぎる。奇をてらいすぎて、逆に見づらい。コミック風にアレンジした2ページと3ページも、コマを無理に詰め込み窮屈な印象。せっかくの工夫が生かされていない。

